

学籍番号	氏名	担当教員	テーマ		
M30-0279F	井上 直哉	大曾根 先生	承認印	Paper Driver 支援システム ～恐怖度合測定機能の開発～	

### 1. 研究目的

近年の日本では車の免許は取得するが、その後、あまり運転をしない若者が多くなっている。そこで直面する問題が、車を頻繁に運転しないが故に再び運転することが怖くなってしまいう問題である。この恐怖を取り除き、ペーパードライバーからの卒業を支援するシステムを制作したいと考えた。

### 2. システム概要

本システムは、恐怖度合測定を行い、その後、ストーリー問題を解き、確認テストに合格することでペーパードライバーを卒業させるシステムである。この際、段階的暴露法を用いたことが、最大の特徴である。

そのシステム概要を図1に示す。このシステムには以下の2つの機能を持たせた。

- (1) 恐怖度合測定付き確認テスト機能
- (2) ストーリー問題機能

筆者は、恐怖度合測定付き確認テスト機能を担当した。

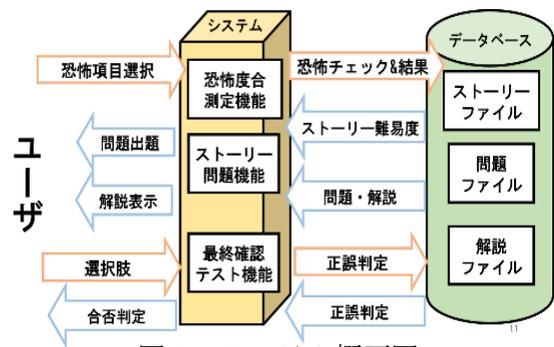


図1 システム概要図

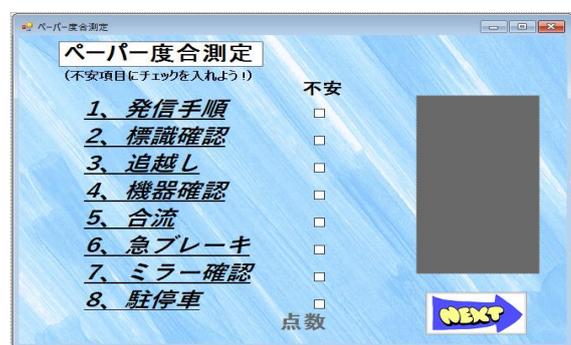


図2 度合測定画面

### 3. 恐怖度合測定機能付き確認テスト機能の開発

本機能は、対象者の運転に対する恐怖度合を測り、対象者の知識を確認する機能である。本機能には、以下の2つの機能を持たせた。

#### ① 恐怖度合測定機能

運転に対する不安要素をアンケート形式で特定する機能である。回答した結果に応じてストーリー機能で表示する問題を変化させるよう工夫した。恐怖度合測定機能により、出題問題を絞ることができ、効率的な学習を可能にした。

#### ② 最終確認テスト機能

ストーリー機能で学習した問題を最後に解き、総合的な知識が定着したかを確認する機能である。最終確認テスト機能を行うことで、運転に自信が付き恐怖心が取り除かれることにより、無事ペーパードライバーを卒業できる。

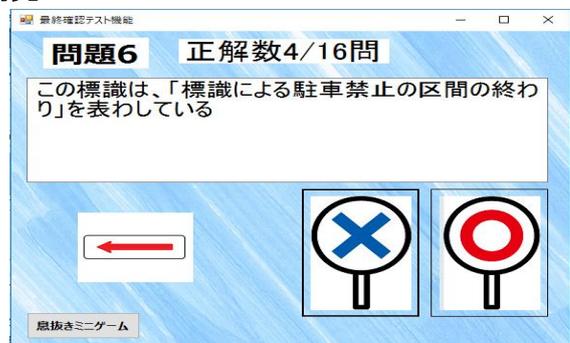


図3 確認テスト画面

### 4. 研究成果

- (1) 恐怖度合測定機能により、無駄な問題の表示を防ぎ効率的な学習を可能にした。
- (2) 最終確認テスト機能により、正しい知識の定着を確認できるようにした。

### 5. 残された課題

- (1) このシステムを使ったユーザーの情報を保存し、結果一覧を表示できるシステムにする。
- (2) 最終確認テストを回答するフォームで○、×を押した時に音が鳴るシステムにする。

キーワード	ペーパードライバー、段階的暴露法、支援システム、度合測定機能、確認テスト				
種類	システム開発	手法	学習支援システム	データ源	日本自動車連盟
使用ハード	パソコン	使用ソフト	Visual Studio 2017	使用言語	Visual Basic

